

# 平成 27 年度事業報告

I 平成 27 年度事業報告の概要

II 法人本部事業報告

III 事業報告

自立サポート森と木

デイセンター風の森

アトリエキノ

モーリー農場

もりすけ

まめじまカフェ

まめじまカフェ (短期入所)

もりときマーケット

宅配弁当ごはんの森

ようこそ森と木ラボ

もりときピコ

地域活動支援センター カフェハクナタタ

こども発達支援センターBee

こどもの自立生活館茜舎

ワズハウス (放課後等デイサービス)

エンパワメントセンターワズハウス (短期入所)

あかね舎ファミリーホーム

エンパワメントセンターワズハウス (ホームヘルプ)

グループホーム

ワズハウス (生活支援)

地域生活相談室ベターデイズ

# 平成 27 年度事業の概要

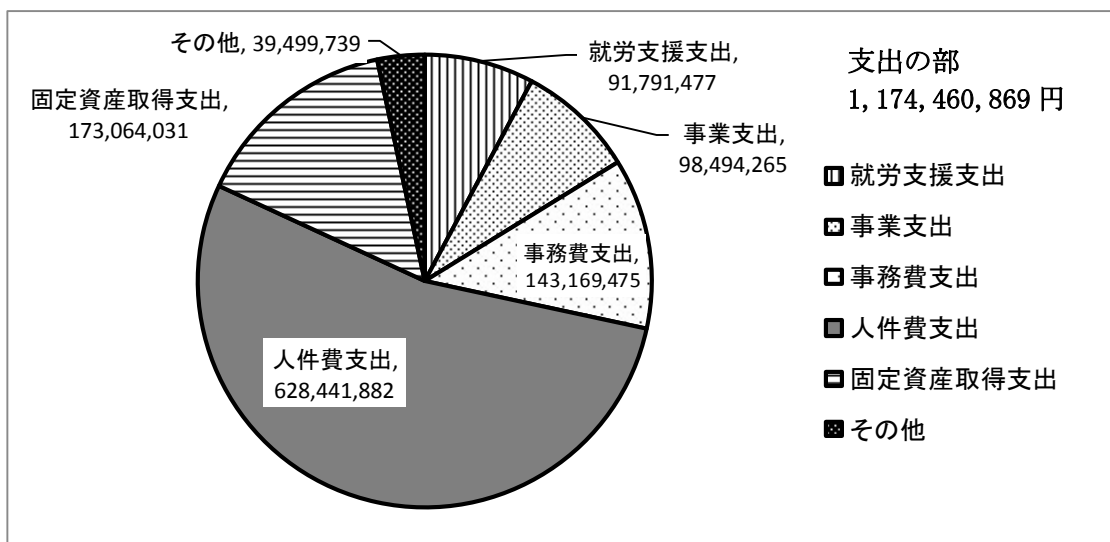
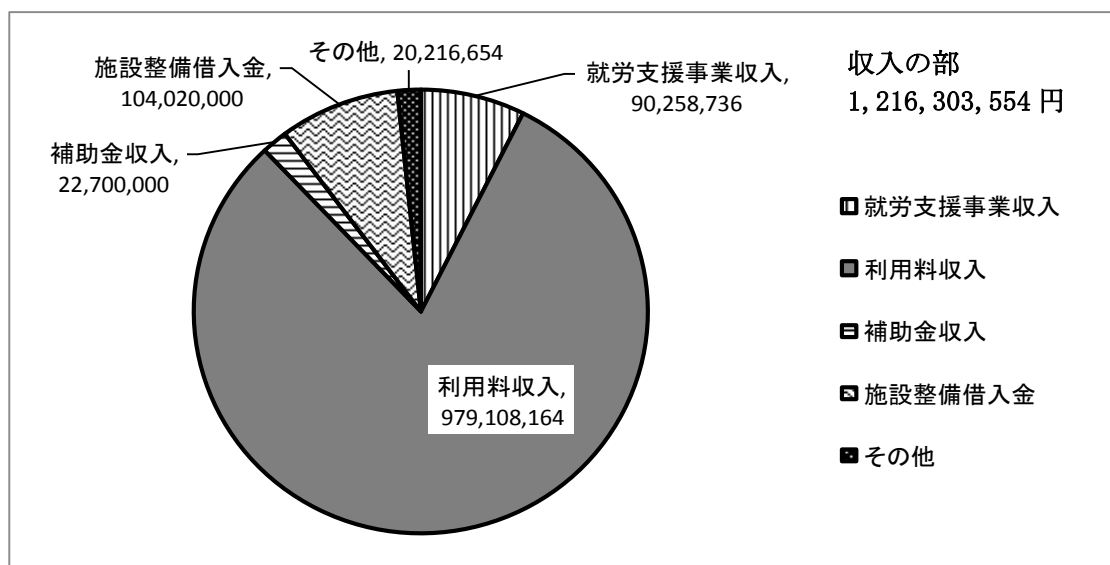
## 1. 総括

平成 27 年度の障害福祉サービスにおける大きな動きとしては、障害福祉サービスを利用する全ての利用者に対してサービス等利用計画に基づいてサービスが提供される仕組みの完全実施である。わが法人でもベターデイズ相談室において相談支援専門員を増員し、その体制整備を担ってきた。地域生活支援にとって相談支援はまさに要であるため、その制度設計及び運用についてその動向を注視し、研究を重ねてきたが、障害のある人が安心して生活設計を委ねられるだけの制度にしていくには、まだしばらくの時間が必要である。

わが法人としてはサービスの量的な充実だけではなく、各事業所、各サービスの質の向上に重点をおいた取組を行ってきた。各通所施設では、それぞれの特色や地域での役割を明確にし、利用者の活動もそれに合わせて特徴のあるものに取り組んできた。それぞれの施設で利用者の方が作業活動に取り組みやすい構造化等を進め、利用者の方がより見通しと張り合いをもって活動に打ち込めるような支援体制をつくってきた。また、ホームでは稲田地区に新たにグリーンハイツ稲田が開設し、新しいメンバーでの新しい生活が始まった。ホームでは地域での自立生活をより充実したものにしていくため、利用者一人ひとりの思いや願いに向き合う支援をそれぞれの支援員が心がけて取り組んだ。

施設整備では、遊びの教室 Bee が本部と程近い建物を改修し、こども発達支援センター Bee として開設した。また、稲田地区にグリーンハイツ稲田イースト（定員 7 名の共同生活援助）の建設工事を行い年度末に完成した。

## 2. 決算の状況〔グラフ〕 ※平成 27 年度の資金収支状況



## Ⅱ. 管理部門事業報告

### 平成 27 年度 法人本部

#### 1. 平成 27 年度 理事会・評議員会・監査

平成 27 年度の事業計画に基づき、予算執行の協議・検討を行い、安定かつ効果的な法人運営に努めた。

##### (1) 開催内容

	日時	審議内容	審議結果
内部監査	平成 27 年 5 月 14 日 (木) 午前 10 時より	平成 26 年度事業・財産監査	承認
第 1 回 評議員会	平成 27 年 5 月 23 日 (土) 午後 1 時 30 分より	第 1 号議案 平成 26 年度事業報告書 (案) について 第 2 号議案 平成 26 年度決算報告書 (案) について 第 3 号議案 諸規定の改定について	第 1 号議案：全会一致承認 第 2 号議案：全会一致承認 第 3 号議案：全会一致承認
第 1 回 理事会	平成 27 年 5 月 23 日 (土) 午後 3 時 30 分より	第 1 号議案 平成 26 年度事業報告書 (案) について 第 2 号議案 平成 26 年度決算報告書 (案) について 第 3 号議案 諸規定の改定について	第 1 号議案：全会一致可決 第 2 号議案：全会一致可決 第 3 号議案：全会一致可決
第 2 回 評議員会	平成 28 年 3 月 12 日 (土) 午後 1 時 30 分より	第 1 号議案 平成 28 年度事業計画 (案) について 第 2 号議案 平成 28 年度予算書 (案) について 第 3 号議案 平成 27 年度補正予算 (案) について 第 4 号議案 金融機関からの借入限度額について 第 5 号議案 諸規定の改定について	第 1 号議案：全会一致承認 第 2 号議案：全会一致承認 第 3 号議案：全会一致承認 第 4 号議案：全会一致承認 第 5 号議案：全会一致承認
第 2 回 理事会	平成 28 年 3 月 12 日 (土) 午後 3 時 30 分より	第 1 号議案 平成 28 年度事業計画 (案) について 第 2 号議案 平成 28 年度予算書 (案) について 第 3 号議案 平成 27 年度補正予算 (案) について 第 4 号議案 金融機関からの借入限度額について 第 5 号議案 諸規定の改定について	第 1 号議案：全会一致可決 第 2 号議案：全会一致可決 第 3 号議案：全会一致可決 第 4 号議案：全会一致可決 第 5 号議案：全会一致可決

##### (2) 理事・評議員出欠状況

	日時	出席者	欠席者
監査	平成 27 年 5 月 14 日 (木) 午前 10 時より		
第 1 回 評議員会	平成 27 年 5 月 23 日 (土) 午後 1 時 30 分より		

第1回 理事会	平成27年5月23日(土) 午後3時30分より		
第2回 評議員会	平成28年3月12日(土) 午後1時30分より		
第2回 理事会	平成28年3月12日(土) 午後3時30分より		

## 2. 職員がいきいきと働き続けるための補助事業

職員がいきいきと働き続けるための補助事業を活用し、研修参加や資格取得、関係書籍等を購入し職務の専門性を高めることができた。

研修内容・支給金額・利用人数

研修内容	支給金額	利用人数
書籍購入費 (関係書籍等 68 冊)	203,419 円	21 人
資格取得費	0 円	0 人
研修参加費 (関西研修、グループホーム学会等)	339,738 円	18 人
合計	543,157 円	39 人

## 3. 職員が法人理念を共有するための補助事業

職員が法人理念を共有するための補助事業を活用し、上司が部下の日頃の思いに耳を傾け部下が上司の理念や仕事に対する考えを学んだりするためのコミュニケーションの場を設けることにより若い職員の資質向上や職員間の法人理念の共有を深めることができた。

開催回数・支給金額

開催回数	支給金額
26 回	292,950 円

## 4. 新規職員採用試験

平成28年度新規職員採用試験の実施

### (1) 試験日時等

日時 第1回 平成27年8月29日(土) 午前9時30分より

第2回 平成28年2月24日(水) 午後4時00分より

会場 エンパワメントセンター ワンズハウス 2階研修室

内容 筆記試験・面接試験

- (2) 採用結果  
 新人職員 4名採用

5. 平成 27 年度職員研修の実施

職員のスキルアップを目指して、以下の通り内部研修の実施、外部研修への参加をした。

	研修内容	実施回数 参加人数
職員研修	①おもしろゼミナール（年 6 回：勤続 1、2 年職員必須） ②施設見学（年 2 回） ③全体職員研修（年 1 回） ④強度行動障害研修	①1 回 ②2 回 ③1 回 ④2 回
リーダー研修	①長野市福祉ネット全体協議会（年 2 回） ②共に生きるまちづくり研究会タウンミーティング（年 1 回） ③障害者虐待防止法研修（年 1 回）	①2 回 ②1 回 ③1 回
管理職研修	①メンタルヘルス研修会（年 1 回） ②社会福祉施設安全衛生管理研修会（年 1 回）	①－ ②－
パートタイム職員研修	①パート、アルバイト全体研修（年 1 回） ②世話人連絡会（年 2 回：グループホーム世話人） ③通所施設パート研修（年 4 回：通所施設毎）	①6 回 ②2 回 ③各施設で実施
その他	①サービス管理責任者研修 ②相談支援専門員初任者研修 ③相談支援専門員現任研修 ④強度行動障害支援者養成研修	①8 人 ②2 人 ③4 人 ④3 人

6. 職員託児事業

職員託児事業を行い、育児休業を取得した職員のスムーズな職場復帰と乳幼児のいる職員の職場定着を図ることができた。

場所・人数等

場所	ワンズハウス 2 階 託児室							
利用者数	3 人							
職員体制	保育士 3 人							
開所日	240 日(平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月)							
開所時間	8:00～19:00							
基本日課	8:00	9:30	11:30	12:30	15:00	16:00	17:00	19:00
	受入	朝寝	昼食	昼寝	おやつ	帰宅①	おやつ	帰宅②

## 7. 若者プラン

法人の進むべき未来を意識できるよう、法人の次世代を担う職員が中長期ビジョンの作成に向け話し合いを行った。

開催回数	内容
8回	現在感じていること、今後の展望として考えることについて意見を出し合い、障害のある人が地域に溶け込んでいくこと、職員が意欲的に仕事に取り組み専門性を身に付けていくための取組みについて主な議題として、発表に向けて話し合いを重ねている。

## 8. 苦情解決状況

苦情の内容		苦情の件数	結果	
1	施設運営に関すること	2件	1	解決済み 10件
2	施設整備等に関すること	0件	2	継続中 0件
3	支援に関すること	8件		
4	その他	0件		
		10件		

事業報告書【平成 27 年度】

事業所名	自立サポート森と木	サービスの種類	多機能型 (生活介護・自立訓練)
1. 総括	<p>特別支援学校を卒業した知的障害のある人を主な対象に、さまざまな社会体験プログラムを提供した。地域の公共施設や店舗を活用したり、地域の方に活動に関わってもらったりすることで、一人ひとりが社会経験を積み、関わりを広げながら、自己肯定感を高めていけるよう支援を行った。A、B、Cの3クラスに分かれて活動することで、クラスの仲間を意識することができ、友人との活動を楽しむことができた。チャレンジ企画は、一人ひとりの目標や挑戦することを明確にして、ご本人、スタッフ共に意識することで、一層の達成感や充実感を持つことができた。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1)個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿って、自立訓練・生活介護の支援を行った。</p>		
	<p>(2)個別支援計画の作成 自立訓練計画又は生活介護計画を作成し、それを基に定期的にモニタリングのためのケア会議を開催した。</p>		
	<p>(3)その他の事業 健康診断 避難訓練 送迎サービス 職員会議 ケース会議等を行った。</p>		
3. 職員数	<p>①管理者：1名 ②サービス管理責任者：久保雅信 ③生活支援員：常勤換算9.2名以上 ④看護師：1名 ⑤嘱託医：1名</p>		
4. 利用者実績	<p>1日平均 生活介護 13名・自立訓練 3名（定員 生活介護 14名・自立訓練 6名）</p>		
5. 開設時間	<p>月曜日～土曜日 午前9：00～午後4：00（土曜日は隔週）</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1)自立生活プログラム 公民館や図書館等の地域資源を活用しながら、クラスごとに、身近な生活に関わることをテーマに社会学習に取り組んだ。また、チャレンジ企画の事前活動の時間として、企画への見通しを持ったり、意欲を高めたりするプログラムに取り組んだ。</p>		
	<p>(2)地域活動 月に2回、地域の方にむけた森と木製品の販売会を行った。陶芸、クッキー等販売品の準備や、手作りのチラシの配布等に取り組んだ。</p>		
	<p>(3)サークル活動 アートサークルでは主に絵画制作に、スポーツサークルでは、サッカーやバスケット等、球技を中心に取り組んだ。</p>		
	<p>(4)作業活動 製菓作業、陶芸作業、下請作業に取り組んだ。</p>		
	<p>(5)おもしろ文化講座 登山家、フラワーアーティスト、気象予報士、フルーツ奏者、ウェディングプランナー、消防士等、多様な職種の専門家を講師として招き、その仕事に関わる内容について学ぶことができた。</p>		
	<p>(6)チャレンジ企画 6月飯縄山登山、8月飯縄キャンプ、10月森と木ウォーク 2月スノーチャレンジを開催し、ひとりひとりの目標に向かって取り組むことができた。</p>		
7. 単年度事業等	<p>なし</p>		

事業報告書【平成 27 年度】			
事業所名	デイセンター風の森	サービスの種類	生活介護
1. 総括	<p>風の森作業活動では、ご本人の得意な工程に取り組みながら風の森オリジナルの製品製作を行なった。達成感を感じられるよう、作った製品は店舗やイベントで販売・納品する機会をつくった。また、地域のお店で製品作りの材料を購入したり、地域でのフリーペーパーのポスティング、地域清掃などの活動を行ったりすることで、地域と自然なかかわりを持ち活動に取り組むことができた。来年度は作業活動以外でも、ご本人の生活の充実につながるような活動を提案していきたい。</p> <p>余暇活動では、土曜日の余暇活動として季節を感じることができる企画や趣味等から企画の提案を行い参加した。</p>		
2. 事業の内容	(1)個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活介護事業を行った。		
	(2)個別支援計画の作成 生活介護支援計画を作成し、6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(3)その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議		
3. 職員数	①管理者：1名 ②サービス管理責任者：金井隆純 ③生活支援員：常勤換算 11.7名以上 ④看護師：1名 ⑤嘱託医：1名		
4. 利用者実績	1日平均 19名（定員 20名）		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00		
6. 活動/作業内容	(1)日中活動 作業活動：木工・クラフト・製菓・ポプリ・ガーデンなど様々な製品作りを通して、感覚や感触を楽しみながらもやりがいを持って取り組める活動を提供した。また、風の森製品を外部店舗やイベントで販売した。		
	(2)社会参加活動 地域社会の中へ積極的に出ていく事で、地域の情報を集め風の森から発信した。		
	(3)クラフトショップもりから堂の運営 全国の福祉施設から集めたオリジナリティある雑貨を専門に取り扱う店として集客をすることで、接客や店舗の運営を通して社会と繋がる場所として運営した。		
	(4)余暇活動（花金・旅行・サタPなど） サタP 毎週土曜日の余暇企画 花金 10月 飲み会企画(銚八) 旅行日程 12/17～/18 風の森大忘年会 アゼイリア飯綱での宴会&宿泊		
	(5)個別活動 日々の活動により充実感を得られるよう、楽しみの一つとして個人にあった個別の活動を行った。		
7. 単年度事業等	なし		



事業報告書【平成 27 年度】			
事業所名	アトリエキノ	サービスの種類	生活介護
1. 総括	アトリエキノでは、みなさんの得意分野となるアート活動に思う存分取り組んでいただき、その作品から雑貨製作や作品展など多くの機会を作ることができた。ご本人の自信に繋がるよう、ひとりの作家として活躍の場を作ることができるよう作品展を提案した。また、キノ前でのイベントには地域の方にも多く参加していただき、アート活動を通して一緒に楽しみながらアトリエキノの活動など地域・社会に発信していく機会となった。		
2. 事業の内容	(1)個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活介護支援を行った。		
	(2)個別支援計画の作成 生活介護支援計画を作成し6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(3)その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議		
3. 職員数	①管理者：1名 ②サービス管理責任者：三井絵美子 ③生活支援員：常勤換算 11.7名以上 ④看護師：1名 ⑤嘱託医：1名		
4. 利用者実績	1日平均 16名（定員 20名）		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前9：00～午後4：00		
6. 活動/作業内容	(1)アート活動 様々な道具を使い自己表現の場としたアート活動を行った。		
	(2)クラフト製品製作 アート活動で製作された作品をもとにした雑貨作りを行った。 (ロウ引きふくろ、はたき、陶芸製品各種、ブローチ)		
	(3)季節を感じる年間行事 5月動物園・6月あじさい・8月戸隠地質化石博物館・9月旬の食材を料理(かぼちゃ)・12月クリスマス会・2月節分・3月ひな祭り		
	(4)キノ前イベント 7月七夕祭り 10月ハロウィン 12月クリスマス 3月ひな祭り		
	(5)作品展 ・5/1～5/31 グットアートミーツ企画展(オラホビール) ・5/13～5/31 キノ作品展 小林翔伍展 ・8/1～8/22 キノ作品展～線からはじまる～ ・10/6～10/12 ギャラリーウィーク ・12/5～1/5 キノ企画展 冬のおくりもの ・2/6～2/14 絵と土のあかり展(灯明祭り) ・信濃美術館企画展 ・フラットファイル企画展		
	(6)クラフトショップの運営 活動で製作した雑貨を中心に取り扱う店として、地域の方とつながる場として店舗の運営を行った。		
	(7)余暇活動 サタP 土曜余暇活動の実施 旅行日程 11/12～11/13 安曇野アートの旅 実施		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 27 年度】			
事業所名	モーリー農場	サービスの種類	生活介護
1. 総括	<p>月 1 回のイベント販売や外部からの大口受注等を受け入れ販売活動をおこない、地域社会と直接関わり、自身の社会の中での役割を感じることが出来るよう支援をおこなってきた。また、個々に応じて、運動する機会や休日の余暇企画への参加、旅行などの余暇活動にも取り組んだ。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活支援を行った。</p>		
	<p>(2) 個別支援計画の作成 生活支援計画を作成し 6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p>		
	<p>(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議</p>		
3. 職員数	<p>①管理者：1 名 ②サービス管理責任者：滝沢英子 ③生活支援員：常勤換算 8 名以上 ④看護師：1 名 ⑤嘱託医：1 名</p>		
4. 利用者実績	<p>1 日平均 18 名（定員 20 名）</p>		
5. 開設時間	<p>月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 加工食品の製造・販売 ジャムの製造、モーリーズの運営（10 月に閉店）、トマトケチャップ製造イベント販売（善光寺びんずる市、農業祭等）</p>		
	<p>(2) しいたけ栽培・販売 飯綱山での原木しいたけの栽培と販売</p>		
	<p>(3) 余暇活動 土曜日の余暇企画 旅行の実施 ①1/14～1/15 山梨旅行（富士急ハイランドと信玄餅工場見学） ②2/4～2/5 山梨旅行（鳴沢氷穴と信玄餅工） 伊那旅行（みはらしファームと養命酒工場見学） 諏訪旅行（岡谷蚕糸工場見学と諏訪大社）</p>		
7. 単年度事業	<p>ケチャップ加工場整備</p>		

事業報告書【平成 27 年度】			
事業所名	もりすけ	サービスの種類	生活介護
1. 総括	<p>月 1 回のイベント販売や外部からの大口受注等を受け入れ販売活動をおこない、地域社会と直接関わり、自身の社会の中での役割を感じる事が出来るよう支援をおこなってきた。畑では加工するための雑穀または野菜を栽培してきた。また、個々に応じて、運動する機会や休日の余暇企画への参加、旅行などの余暇活動にも取り組んだ。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活支援を行った。</p>		
	<p>(2) 個別支援計画の作成 生活支援計画を作成し 6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p>		
	<p>(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議</p>		
3. 職員数	<p>①管理者：1 名 ②サービス管理責任者：石井和代 ③生活支援員：常勤換算 8 名以上 ④看護師：1 名 ⑤嘱託医：1 名</p>		
4. 利用者実績	1 日平均 12 名（定員 20 名）		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 焼き菓子の製造・販売 クッキー、パウンドケーキの製造 販売活動 ①出張販売（障害者福祉センター、長野市役所、ライフサポートりんど、長野県リハビリテーションセンター） ②イベント販売（善光寺びんずる市、長野市農業祭など） ③納品（森のパン屋ベジタ、喫茶店「こつこつ豆と器」、エネオス長野稲田店、パチンコ店「チャンピオン」）</p>		
	<p>(2) 雑穀、野菜の栽培 三才畑：雑穀栽培（たかきび、アマランサス、しこくびえ） 駒沢畑：加工用トマト栽培、野沢菜栽培</p>		
	<p>(3) 余暇活動 土曜日の余暇企画 旅行の実施 ①1/14～1/15 山梨旅行（富士急ハイランドと信玄餅工場見学） ②2/4～2/5 山梨旅行（鳴沢氷穴と信玄餅工） 伊那旅行（みはらしファームと養命酒工場見学） 諏訪旅行（岡谷蚕糸工場見学と諏訪大社）</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 27 年度】

事業所名	まめじまカフェ	サービスの種類	生活介護
1. 総括	<p>行動障害等がある自閉症の方を主な対象に、個々の障害特性に配慮した環境と活動プログラムを通して、安心して社会生活を送るために必要な支援について検証することを目的として支援を行った。4月に風間地区に空き缶活動を作業の柱とした作業場所の開所をおこない小集団での作業支援をおこなった。また、まめじまカフェ本体では、12月に改修工事をおこない、一人ひとりにあった環境設定や支援方法を実施した。それを家庭や他の支援機関とも共有することで、地域生活の次のステップへとつなげていけるよう支援を行った。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1)個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活介護支援を行った。</p> <hr/> <p>(2)個別支援計画の作成 生活介護支援計画を作成し6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p> <hr/> <p>(3)その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議</p>		
3. 職員数	<p>①管理者：1名 ②サービス管理責任者：富所弘行 ③生活支援員：常勤換算10名以上 ④看護師：1名 ⑤嘱託医：1名</p>		
4. 利用者実績	<p>1日平均15名（20名）</p>		
5. 開設時間	<p>月曜日～土曜日 午前9：00～午後4：00</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1)個別活動 まめじまカフェ本体を拠点に障害特性に応じた個別日課の提供をおこなった。日々の生活を詳細なアセスメントをとりながら、その方に合ったより安心して社会生活を送るために必要な支援や環境を検証・確立した。 下請作業・課題作業・野菜の栽培・他施設や外部事業所への活動参加・体験の実施をおこなった。</p> <hr/> <p>(2)小集団活動 空き缶作業場を拠点に障害特性に応じた分かりやすい作業活動を柱として、小集団で空き缶作業をおこなった。見通しを持てる作業や小集団での活動を通して、達成感や充実感などを共有し、よりよい社会生活を送るために必要な支援を検証・確立した。 内容：空き缶作業（空き缶回収・空き缶潰し・納品）</p> <hr/> <p>(3)森の家 カフェ営業・ケア会議開催</p>		
7. 単年度事業等	<p>2階改修工事</p>		

事業報告書【平成 27 年度】

事業所名	まめじまカフェ	サービスの種類	短期入所
1. 総括	在宅で生活している障害のある人の体験宿泊としての支援や、家族の介護軽減等を目的にした宿泊の支援を行った。利用者の身体、その他の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排せつ及び食事の介助、その他の必要な保護を行った。		
2. 事業の内容	(1) ケアプランに沿った障害福祉サービス等の提供 ケアプランに沿って短期入所サービスの提供を行った。 ----- (2) その他の事業 送迎サービス、支援会議への出席		
3. 職員数	①管理者 1 名 ②生活支援員 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 2 名 (定員 3 名)		
5. 開設時間	月曜日～土曜日		
6. 活動/作業内容	(1) 食事、排泄、更衣等の日常生活上の介助、支援 支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。 ----- (2) 自立生活に向けた相談、助言 家庭での生活や今後の自立生活に向け、一人ひとりのアセスメントについて情報を集め、ご家族や支援者等への助言を行った。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 27 年度】

事業所名	もりときマーケット	サービスの種類	生活介護 就労継続支援 B 型
1. 総括	<p>仕事を通してやりがいや誇りを実感しながらいきいきと働き、充実した就業生活を送れるよう支援を行った。今年は御開帳の効果で善光寺の観光客が増加したことで作業量が増え、利用者の方のやる気や作業種の拡大にも繋がった。</p> <p>また、カラオケ・ボーリング・サタPなどの余暇企画も継続して行い、リフレッシュの機会を作る事が出来た。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1)個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、生活介護及び就労継続 B 型支援を行った。</p> <p>(2)個別支援計画の作成 生活介護計画及び就労継続支援 B 型支援計画を作成し、6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p> <p>(3)その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議、店舗経営会議</p>		
3. 職員数	<p>①管理者：1 名 ②サービス提供責任者：鈴木愛美 ③生活支援員：常勤換算 4 名以上 ④看護師：1 名 ⑤職業指導員：1 名 ⑥目標工賃達成指導員：1 名 ⑦嘱託医：1 名</p>		
4. 利用者実績	<p>1 日平均 生活介護 5 名・就労継続支援 B 型 6 名 (定員 生活介護 10 名・就労継続支援 B 型 10 名)</p>		
5. 開設時間	<p>・森のパン屋ベジタ、曇り時々晴れ駅前店：月曜～土曜 午前 9 時～午後 4 時 ・曇り時々晴れ本店、西洋料理店もりたろう：火曜～日曜 午前 9 時～午後 4 時</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1)店舗の運営 パン屋、レストラン、喫茶店の運営をし、菓子製造、調理補助、接客、販売、店内清掃等の作業支援を行った。</p> <p>(2)勉強会 月に 1 度、衛生について、コミュニケーションのとり方について等のテーマを設定し勉強会を行った。興味を持って主体的に参加できるように、利用者の方の学びたいテーマも取り入れた。</p> <p>(3)余暇企画 ボーリングとカラオケを年 4 回、サタデープログラムを年 3 回計画し、利用者の方が選択し企画に参加した。また忘年会や暑気払いも実施した。</p> <p>(4)研修旅行 店舗ごとに 1 泊 2 日の研修旅行を行った。 ・ベジタ 9/18～9/19 国民宿舎松代壮 分析会議、パンのインテリア作り ・曇り時々晴れ・もりたろう 10/25～10/26 なべくら高原森の家 衛生管理、店づくりについて</p> <p>(5)アート活動 週に 1 日、絵画や陶芸などのアート活動を実施した。</p>		
7. 工賃実績	<p>月平均 12,981 円</p>		
8. 単年度事業等	<p>なし</p>		

事業報告書【平成 27 年度】			
事業所名	宅配弁当ごはんの森	サービスの種類	就労継続支援 B 型
1. 総括	<p>弁当の調理や配達を行うことで、本人のやりがいや誇り、達成感を実感し、充実した職業生活を送ることができるよう支援した。また、就職希望がある人には、就職へのイメージ作りや就職活動への助言・指導を行った。こども発達支援センターBee での給食提供も始まり、調理施設としての作業種も増やすことが出来た。また売上のほとんどは法人内部のものではあるが、定期的な会合での昼食に弁当を利用していただける状況もでき、収入は増加した。</p>		
2. 事業の内容	(1)個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、就労継続支援を行った。		
	(2)個別支援計画の作成 就労移行支援計画を作成し 6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(3)給食施設の運営 こども発達支援センターBee の給食業務を運営した。		
	(4)その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議、店舗経営会議		
3. 職員数	<p>①管理者：1名 ②サービス管理責任者：井浦純平 ③職業指導員もしくは生活支援員 1 名以上 ⑤目標工賃達成指導員 1 名</p>		
4. 利用者実績	1 日平均 8 名（定員 20 名）		
5. 開設時間	月曜日～金曜日 午前 8：30～午後 3：30		
6. 活動/作業内容	(1)店舗の経営 お弁当の調理、盛りつけ、配達、回収を行った。		
	(2)勉強会 毎月 1 回勉強会を開催し、マナー講座や仕事について、お金の使い方、趣味、防災などソーシャルスキルを高めていけるよう幅広いテーマで実施した。		
	(3)余暇企画 ボウリングとカラオケを年 4 回企画、サタデープログラムを年 3 回実施。利用者は選択して企画に参加した。また、利用者の忘年会も企画し実施した。		
	(4)研修旅行 『社会人マナー・食品衛生について』 平成 27 年 9 月 25 日・26 日 於：まだらおの湯		
7. 工賃実績	月平均 14,000 円		
8. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 27 年度】			
事業所名	ようこそ森と木ラボ	サービスの種類	自立訓練（生活訓練） 就労移行支援
1. 総括	<p>発達障害のある人を対象に、自己理解や他者理解、コミュニケーションスキルの向上を目的とした SST を実施した。また、自分の適性について考え、職業生活に必要な習慣やスキル、マナーを身につけるためのキャリアサポートの活動に取り組んだ。個別での相談や課題に応じた活動に取り組む時間をつくり、一人ひとりの目標やニーズに沿った支援を提供した。</p> <p>実習先や施設外就労先との連絡を密にし、運送会社等に 3 名が就職した。</p>		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、自立訓練及び就労移行支援を行った。		
	(2) 個別支援計画の作成 自立訓練計画及び就労移行支援計画を作成し、3 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。		
	(3) その他の事業 健康診断、避難訓練、職員会議、ケース会議		
3. 職員数	<p>①管理者 1 名 ②サービス管理責任者：奥村和枝 ③生活支援員：常勤換算 2 名以上 ④就労支援員：1 名 ⑤職業指導員：1 名</p>		
4. 利用者実績	<p>1 日平均 自立訓練 10 名・就労移行支援 3 名 (定員 自立訓練 14 名・就労移行支援 6 名)</p>		
5. 開設時間	月曜日～金曜日 午前 9：00～午後 4：00		
6. 活動/作業内容	(1) ワークトレーニング 職業生活の基本となる習慣やスキルの獲得を目指し、作業活動に取り組んだ（富士通・桜井甘精堂・ベジドリームの受注作業、老人保健施設の清掃等）。		
	(2) キャリアラボ（就労移行） 自分の適性について考え、ハローワークの活用や求人票の見方、職場でのコミュニケーションの取り方など、職業生活に必要なマナーやルールについて学習した。また、職場見学を実施した。		
	(3) ライフラボ（自立訓練） コミュニケーションを楽しみ、スキルを高めるための活動、絵画や陶芸などの表現活動、パソコン講座や調理実習など、社会性や日常生活スキルを養うための活動に取り組んだ。1 階の市民交流センターを活用し、地域の人たちとの交流を深めることで、コミュニケーションスキルを高めることができた。集団活動の集大成として、ラボ合宿を企画し、多くの方たちが参加した。また、将来の職業生活のイメージを持つことを目的として、職場見学を実施した。		
	(4) 個別の時間 自己理解やコミュニケーションスキルの向上を目的にした SST など、個別の課題に応じた活動に取り組んだ。		
7. 単年度事業等	なし		



事業報告書【平成 27 年度】

事業所名	もりときピコ	サービスの種類	放課後等デイサービス
1. 総括	<p>発達障害のある小学生、中学生、高校生を対象に、放課後や休日のサポートを行ってきた。友だちタイムでは、子ども達が好きなことややりたいことを中心に集団での活動も行い、また学びタイムでは、学習サポートも行いながら、ご本人のやる気につながるよう支援を行った。また、チャレンジ企画としてトレッキングなど日ごろなかなか取り組めないことに挑戦し、楽しさや達成感を感じられる活動を行なった。</p> <p>福祉サービスを初めて利用する方も多く、ご家族の相談にも乗りながら安心して過ごせる場所の提供に努めた。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1)個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、放課後等デイサービスの提供をおこなった。</p> <p>(2)個別支援計画の作成 個別支援計画を作成し6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p> <p>(3)その他の事業 避難訓練（年2回）、職員会議、ケア会議への参加、放課後等デイ説明会、送迎サービス</p>		
3. 職員数	<p>①管理者 1 名 ②児童発達支援管理責任者：遠山恵理奈 ③指導員：常勤換算 2 名以上</p>		
4. 利用者実績	<p>1 日平均 9 名（定員 10 名）</p>		
5. 開設時間	<p>月曜日～金曜日 15：00～19：00、土曜日と学校休業日は9：30～15：30</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1)学びタイム 宿題のサポートや本を読んだりする自習の時間として、苦手な部分のサポートを行った。</p> <p>(2)友だちタイム 月予定を作成し、子ども達が集団で楽しめるゲームや調理、工作などの活動を行った。友だちと楽しく関わる時間を作ることができた。</p> <p>(3)マイルーム スタッフとの個別の時間を確保し、ゆっくり話をしたり、ゲームをしたりしながら必要なスキルの向上に努めた。</p> <p>(4)クラブ活動 スポーツクラブ、アートクラブ、鉄道クラブに分かれ、同じ趣味の仲間との関わりを楽しんだ。土曜日の午後に実施した。</p> <p>(5)チャレンジャーズ 6 月戸隠トレッキング（中高生組）、7 月地附山トレッキング（小学生組）、10 月縄文時代の生活体験、2 月スノーシュー体験のチャレンジ企画を行なった。日ごろなかなかできない体験を通して、達成感を感じられる活動を行なった。</p>		
7. 単年度事業等	<p>なし</p>		

事業報告書【平成 27 年度】

事業所名	地域活動支援センター カフェハクナマタタ	サービスの種類	地域活動支援センターⅡ型
1. 総括	今年度より、場所を権堂イーストプラザに移し、地域のなかに集える場所の提供と相談援助を行った。また、必要でありながら福祉サービスに繋がっていない人が、次のステップまで利用できる場となるよう、相談支援専門員と連携しニーズの情報収集を行った。地域活動としては、住民自治協議会や交流センター利用者など、地域の人と繋がるための企画としてオープンカフェも行った。		
2. 事業の内容	(1) 憩いの場の提供「カフェハクナマタタ」の運営		
	(2) サークル活動		
	(3) 各種イベント		
	(4) コミュニケーションスキルを高めるためのプログラム「しゃべくりカフェ」		
	(5) 地域との繋がりや障害理解を広めるための企画「オープンカフェ」		
3. 職員数	①管理者 1 名 ②支援員 常勤 1 名 非常勤 1 名		
4. 利用者実績	登録者数 60 名 1 日平均 15 名 (定員 15 名)		
5. 開設時間	火曜～土曜日 10:00～19:00 (サークル活動がある日は 21:00 まで)		
6. 活動/作業内容	(1) カフェハクナマタタの運営 地域のなかの集える場所として、カフェの運営を行い、仲間との語らいの場や相談の場として活用した。		
	(2) サークル活動 平日の夜の時間帯に、同じ趣味をもつ仲間との関わりをつくれるよう、料理、ダイエット、ゲームサークルを行った。		
	(3) 各種イベント 喫茶外出やスポーツなど、街のなかにある店やレジャー施設、公共施設などを活用しながら、余暇を楽しむためのイベントを行なった。		
	(4) しゃべくりカフェ コミュニケーションスキルを高めるためのプログラムとして、月に一度、テーマに沿って、自分のことを話したり仲間の話を聞き合ったりする活動を行った。		
	(5) オープンカフェ 地域との繋がりや障害理解を広めるための企画として、2 か月に一度実施した。地域の住民自治協議会や 1 階の交流センター利用者が多く訪れ、カフェを利用している人たちの励みや楽しみにもなった。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 27 年度】

事業所名	こども発達支援センター B e e	サービスの種類	児童発達支援 保育所等訪問支援
1. 総括	<p>障害のある子どもや発達に不安のあるご家族の相談業務を行った。通所する子どもたちの支援として、日常生活における基本的動作の習得や、集団生活に適應することができるような集団活動を提供し、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切な指導及び訓練を実施した。</p> <p>また、発達に心配のある乳幼児期のお子さんに対し、遊びを通して楽しみながら発達を促す支援を行ったほか、家族への子育て支援も行ってきた。</p> <p>地域の保育園、幼稚園へ移行した子どもに対し保育所等訪問支援を行ない、子ども支援や園の保育士にアドバイスを行なった。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画に沿った、児童発達支援を行った。</p> <p>(2) 個別支援計画の作成 児童発達支援計画を作成し、6 か月毎にケア会議を開催した。</p> <p>(3) その他の事業 保育所等訪問支援計画を作成し、地域の保育所への移行支援を行なった。</p>		
3. 職員数	<p>①管理者 1 名 ②児童発達管理責任者：横山智恵子、小山勝章 ③保育士：常勤換算 7 名 ④看護師：常勤換算 1 名 ⑤機能訓練員 1 名 ⑥訪問支援員 1 名 ⑦嘱託医：1 名 ⑧相談支援専門員 1 名</p>		
4. 利用者実績	<p>1 日平均 15 名（定員 20 名 うち重心 5 名）</p>		
5. 開設時間	<p>月曜日～土曜日 午前 9：00～午後 4：00</p>		
6. 活動内容	<p>(1) 基本的な生活習慣の形成に関する支援の実施 アセスメントを行い、トイレトレーニングや食事等の基本的な生活習慣の形成に関する支援を行った。</p> <p>(2) 社会性や対人関係に関する支援の実施 集団生活の中での遊びを通して、社会性や対人関係に関する支援を行った。</p> <p>(3) 運動や健康に関する支援の実施 粗大運動を取り入れた活動の提供や健康管理を行うなどの支援を行った。 また土曜日に体操教室、親子教室を開催した。 ○親子教室：年 4 回実施した。 ○体操教室：年 10 回実施した。</p> <p>(4) ママさんグータンの実施(母親同士の交流会) 5 月 25 日 稲荷山養護学校見学会 6 月 9 日 長野養護学校見学会 2 月 15 日～19 日 保護者参観ウィークと昼食会</p> <p>(5) みんなの広場の実施(家族参加のお楽しみ会) 4 月 18 日 お花見会 を企画し実施した。 7 月 11 日 夏祭り を企画し実施した。 10 月 24 日 運動会 を企画し実施した。 12 月 19 日 クリスマス会 を企画し実施した。 3 月 27 日 おもひで会 を企画し実施した。</p> <p>(6) 公開保育の実施 地域の保育園・幼稚園の先生を対象として、年中長児の公開保育を開催した。</p>		
7. 単年度事業等	<p>こども発達支援センターBee 移転・改修工事</p>		

事業報告書【平成 27 年度】

事業所名	こどもの自立生活館茜舎	サービスの種類	放課後等デイサービス
1. 総括	<p>児童福祉法で定められた放課後等デイサービスの提供を行った。学齢期の障害のある子どもたちが、放課後・休日に年齢相応の様々な社会体験を行えるよう曜日ごと設定されたクラブの参加を通して支援をおこなった。</p> <p>また、家族への支援として介護軽減、緊急時に対応できる体制も整え、障害のある子ども達を地域で支えるための支援を行った。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画を作成し 6 か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p> <p>(2) 個別支援計画の作成 個別支援計画に沿った、放課後等デイサービスの提供をおこなった。</p> <p>(3) その他の事業 送迎サービス、避難訓練、茜舎説明会</p>		
3. 職員数	<p>① 管理者 1 名 ② 児童発達管理責任者：小林佳美 ③ 指導員：常勤換算 5 名以上</p>		
4. 利用者実績	<p>1 日平均 16 名（定員 20 名）</p>		
5. 開設時間	<p>月曜日～金曜日 午後 2:30～午後 6:30 土曜日、学校休業日 午前 9:30～午後 3:30 ※緊急時の対応として、365 日 24 時間の体制を確保</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1) クラブ 曜日ごと放課後の時間にアウトドア、お料理、アート、おでかけ、スポーツ、お楽しみクラブを実施し、様々な社会体験プログラムを実施した。また、長期休暇に関しては特別プログラムを実施し、プールやデイキャンプなどの活動を行った。</p> <p>(2) 森と木家族会と連携し、草取りや説明会を開催した。 草取り（平成 27 年 6 月 9 日、7 月 6 日） 放課後等デイサービス説明会（平成 27 年 2 月 3 日、2 月 7 日）</p>		
7. 単年度事業等	<p>なし</p>		

事業報告書【平成 27 年度】			
事業所名	ワンズハウス	サービスの種類	放課後等デイサービス
1. 総括	<p>児童福祉法で定められた放課後等デイサービスの提供を行った。学齢期の障害のある子どもたちが、放課後・休日に年齢相応の様々な社会体験を行えるよう曜日ごと設定された部活動の参加を通して支援を行い一人ひとりが目標を持って活動に参加できるよう支援をおこなった。</p> <p>また、主な活動場所として地域の施設を積極的に使用し、日々の練習の成果を発表する機会として合宿や記録会などの大会に参加し、自己ベスト更新など一人ひとりの目標を達成する事ができた。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 個別支援計画を作成し6か月毎にモニタリングのケア会議を開催した。</p> <p>(2) 個別支援計画の作成 個別支援計画に沿った、放課後等デイサービスの提供をおこなった。</p> <p>(3) その他の事業 送迎サービス、茜舎説明会</p>		
3. 職員数	①管理者1名 ②児童発達管理責任者：久保佑美香 ③指導員：常勤換算2名以上		
4. 利用者実績	1日平均8名（定員10名）		
5. 開設時間	<p>月曜日～金曜日 午後2:30～午後6:30 土曜日、学校休業日 午前9:30～午後3:30 ※緊急時の対応として、365日24時間の体制を確保</p>		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 茜舎部活 曜日ごと放課後の時間にアートワーク、クッキング、水泳、スポーツ、ダンス部を実施した。また、長期休暇に関しては特別プログラムとし、プールやデイキャンプなどの活動を提供した。</p> <p>日頃の練習の成果の発表の場として、大会や発表会を実施した。</p> <p>①水泳部 7月11、12日 合宿及びサンスポーツ駒ヶ根水泳記録会に出場した。 3月6日 サンアップル水泳大会に出場した。</p> <p>②スポーツ部 11月1日 若穂とびっくランに出場した。</p> <p>③ダンス部 3月11日に発表会を実施した。</p> <p>(2) 森と木家族会と連携し、草取りや説明会を開催した。 草取り（平成27年6月9日、7月6日） 放課後等デイサービス説明会（平成27年2月3日、2月7日）</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 27 年度】

事業所名	エンパワメントセンター ワンズハウス	サービスの種類	短期入所
1. 総括	在宅で生活している障害のある人の外泊体験として、食事の買い物や調理などを支援員と一緒にすることで、自立した生活に向けて体験する場の提供を行った。併せて、緊急時の宿泊や家族の介護軽減等を目的に宿泊の支援を行った。		
2. 事業の内容	(1) 個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 ケアプランに沿って短期入所サービスの提供を行った。 ----- (2) その他の事業 送迎サービス、支援会議への出席		
3. 職員数	①管理者 1 名 ②生活支援員 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 3 名 (定員 4 名)		
5. 開設時間	月曜日～日曜日		
6. 活動/作業内容	(1) 日常生活上の介助、支援 支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。 ----- (2) 自立生活に向けた相談、助言 ご本人やご家族から、将来の自立生活についての相談を受け、助言を行った。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 27 年度】

事業所名	あかね舎ファミリーホーム	サービスの種類	短期入所
1. 総括	あかね舎ファミリーホームについては、実親家庭での生活が困難になった学齢児を主な対象とする為、定例のケア会議を開催し、ケアプランに基づく支援を行うとともに、健全な家庭生活への復帰を目指し、家庭や関係機関との連絡、相談を密に行う支援を行った。		
2. 事業の内容	(1)個別支援計画に沿った障害福祉サービス等の提供 ケアプランに沿って短期入所サービスの提供を行った。 ----- (2)その他の事業 送迎サービス、支援会議への出席		
3. 職員数	①管理者 1 名 ②生活支援員 1 名		
4. 利用者実績	1 日平均 2 名 (定員 7 名)		
5. 開設時間	月曜～日曜		
6. 活動/作業内容	(1)日常生活上の介助、支援 支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。 ----- (2)家庭、関係機関との連携 家庭との面談や学校でのケア会議への出席をし、連携を図った。		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 27 年度】			
事業所名	エンパワメントセンター ワンズハウス	サービスの種類	居宅介護・行動援護 移動支援
1. 総括	<p>行動援護事業、市町村移動支援事業の実施要綱に基づき、障害のある大人の人を対象に平日の夕方の時間や休日に、必要な支援を受けながらあらゆる社会体験を通して自己実現・自己選択・自己決定の機会を得られるよう多様なサービスの提供を行った。</p> <p>また、ホームで生活している重度の身体障害、行動障害のある人に対し、自分らしく生活が送れるようヘルパーを派遣し、居宅介護事業の提供を行った。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1)市町村移動支援事業、行動援護事業の実施</p> <p>平日の夕方や週末に余暇活動の提案をし、参加者に適切な支援を行った。また、集団が苦手な人には個別の外出を提案し、社会参加の機会を提供した。</p>		
	<p>(2)居宅介護</p> <p>在宅で生活されている人やケアホームで生活されている人を対象に、居宅介護計画に沿った身体介護の提供を行った。また、定期通院などには通院介助の提供を行った。</p>		
	<p>(3)その他の事業</p> <p>送迎サービス</p>		
3. 職員数	<p>①管理者 1 名 ②サービス提供責任者：林弘、中澤淳平、山岸穂奈美 ③登録ヘルパー：30 名</p>		
4. 利用者実績	1 ヶ月平均 身体介護 400 時間、行動援護 180 時間、移動支援 260 時間		
5. 開設時間	365 日		
6. 活動内容	<p>(1)サークルQ</p> <p>毎週末の土、日や祝日に外出、ならびにカルチャースクールなどの 2 企画 10 名程度で参加者を募り、余暇支援の提供を行った。また、1 泊 2 日の旅行も 3 回開催し、年齢に応じた活動の提供を行った。</p>		
	<p>(2)アフター 5</p> <p>(月) 料理、(火) 歌サークル、(水) 個別活動[行動援護] (木) リフレッシュ、(金) 絵画教室 と活動を設定し、サービスの提供を行った。当初は月 2 回の予定であったが、参加申し込みが多くなり月 1 回の利用に調整を行うなど、多くの人が利用できるよう対応した。</p>		
	<p>(3)居宅介護（身体介護、通院介助）</p> <p>在宅で暮らしている人やケアホーム入居者を対象にヘルパーを派遣し、サービスの提供を行った。</p>		
7. 単年度事業等	なし		



事業報告書【平成 27 年度】			
事業所名	エンパワメントセンター ワンズハウス	サービスの種類	共同生活援助
1. 総括	<p>共同生活援助指定事業所として共同生活援助計画に基づき、利用者ひとりひとりが主体的に自らの生活を作り上げられることに焦点をあて、きめ細かな支援を行ってきた。利用者が地域において、共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにそのおかれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排泄及び食事等の介護、相談その他の日常生活上の支援を適切かつ効果的に行った。</p> <p>平成 27 年 4 月には長野市稲田にグリーンハイツ稲田（男性 5 名定員・ショートステイ 3 名定員併設）を開設し、行動障害のある方が住み慣れた地域のなかで生活ができるよう、それぞれの特性に合わせた生活環境作りを検討し、きめ細やかな支援を行ってきた。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1) 共同生活援助計画の作成 6 ヶ月に 1 度、共同生活援助計画の見直しを行い、必要に応じて変更を行った。</p> <p>(2) 生活支援 食事の提供や、掃除の支援、余暇時間の活動提案など、利用者 1 人 1 人の個別支援計画に沿ったサービスを提供した。</p> <p>(3) その他の事業 職場や通所先で健康診断を受けることができない利用者の方向けに 10 月に長野県健康づくり事業団による健康診断を実施した。また、希望者にはインフルエンザの予防接種や歯科検診の機会を提案し、健康管理に努めてきた。</p>		
3. 職員数	①管理者 1 名 ②サービス管理責任者 4 名 ③生活支援員 16.7 名 ④世話人 26.3 名		
4. 利用者実績	89 名（定員 96 名）		
5. 開設時間	365 日		
6. 活動/作業内容	<p>(1) 日常生活上の介助、支援 個別支援計画に基づき、食事、入浴、着替え等の支援を行った。</p> <p>(2) 余暇等の社会参加の支援 個別支援計画に基づき、移動支援サービスや各種イベント等への参加等を提案し、必要に応じて予約などの手続きを行った。</p> <p>(3) 通院介助の実施 定期的な通院が必要な方に関して通院介助による付添支援を実施し、入居者の体調を把握すると同時に主治医と連携を図ってきた。</p> <p>(4) 夜間巡回の実施 毎日 16 時～21 時の間に夜間巡回を実施し、入居者の生活状況を把握すると同時に世話人、生活支援員と情報交換を行い、連携を図った。</p> <p>(5) 金銭管理 金銭管理については基本的に法人で行っていないが、金銭管理を行なう家族がおらず、社会福祉協議会の日常生活自立支援事業での対応が難しい方(5 名)については、例外的に法人で管理を実施している。</p>		
7. 単年度事業等	・グリーンハイツ稲田イースト建設工事 (平成 27 年度長野市障害者施設整備費補助事業)		

各共同生活住居の状況

住居名	開設時期	所在地	定員	入居者数
コーポ 21	平成 11 年 4 月	長野市風間 1412-11	4 名	男性 4 名
みわ	平成 17 年 10 月	長野市三輪 8-53-5	5 名	女性 4 名
ななせ	平成 17 年 10 月	長野市鶴賀七瀬 474	4 名	男性 3 名
ぼるて平林 A	平成 18 年 4 月	長野市平林 1-32-15 (1 階)	4 名	男性 4 名
ぼるて平林 B	平成 18 年 4 月	長野市平林 1-32-15 (2 階)	4 名	男性 4 名
サンディ東和田	平成 19 年 4 月	長野市東和田 233-1	7 名	女性 7 名
パル平林	平成 20 年 4 月	長野市平林 1-3-17	5 名	男性 4 名
ハイム平林	平成 21 年 3 月	長野市平林 2-19-3	4 名	男性 4 名
アルファ東和田 I	平成 21 年 11 月	長野市東和田 918-1	6 名	男性 6 名
クオリティ桜	平成 22 年 1 月	長野市桜新町 801-75	7 名	男性 6 名
メゾン浅川 I	平成 22 年 9 月	長野市浅川押田 146-3	12 名	男性 12 名
アルファ東和田 II	平成 23 年 4 月	長野市東和田 918-1	6 名	女性 5 名
メゾン浅川 II	平成 24 年 3 月	長野市浅川押田 249-1	4 名	男性 2 名
サンハイム稲田	平成 24 年 4 月	長野市稲田 3-36-28	9 名	男性 9 名
ハイツもりた	平成 25 年 4 月	長野市高田 203-3	6 名	男性 3 名 女性 3 名
サンディおわりベ	平成 26 年 4 月	長野市西尾張部 614-2	4 名	女性 4 名
グリーンハイツ稲田	平成 27 年 4 月	長野市稲田 2-55-41	5 名 短期 3 名	男性 5 名

事業報告書【平成 27 年度】

事業所名	ワンズハウス	サービスの種類	市町村タイムケア 長野市障害児自立サポート
1. 総括	<p>在宅で生活されている方の一時的な預かりや緊急時の預かり、介護軽減等を目的にサービスの提供をおこなった。</p> <p>利用者の身体、その他の状況に応じて、入浴、排せつ及び食事の介助、その他の必要な支援を適切かつ効果的におこなった。</p>		
2. 事業の内容	<p>(1)市町村タイムケア 障害のある方が、家庭等で介護できないときに一時的な預かりや緊急時の預かりなどをおこなった。</p> <p>-----</p> <p>(2)長野市障害児自立サポート 障害のある子どもが、地域で充実した生活を送りながら、将来の自立に向けた様々な体験ができるよう支援をおこなった。</p> <p>-----</p> <p>(3)法人独自サービス 病院の付添等福祉サービスが使えない場合や、タイムケア・自立サポートの上限数を超過してしまった場合などに、利用者の実費負担でサービスの提供をおこなった。</p> <p>-----</p> <p>(4)その他の事業 送迎サービス</p>		
3. 職員数	①管理者 1 名 ②支援員：2 名		
4. 利用者実績	<p>1 ヶ月平均 市町村タイムケア 850 時間、長野市障害児自立サポート 320 時間 年間合計 法人独自サービス 52 時間</p>		
5. 開設時間	365 日 24 時間		
6. 活動/作業内容	<p>(1)タイムケア 日中の一時預かりや緊急時などの対応、サークル Q やアフター5 等で外出以外の余暇活動の支援をおこなった。</p> <p>-----</p> <p>(2)長野市障害児自立サポート 放課後等デイサービス以外の時間帯で児童に対してサービスの提供をおこなった。</p> <p>-----</p> <p>(3)ダンススクール 毎月 2 回、日曜日に開催した。</p>		
7. 単年度事業等	なし		

事業報告書【平成 27 年度】

事業所名	地域生活相談室 ベターデイズ  ベターデイズ 権堂分室	サービスの 種類	長野市障害者相談支援事業 長野市児童発達相談支援事業 長野県障害児等療育支援事業 発達障害サポートマネージャ整備事業 指定一般相談支援事業 指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業 長野市ケアプラン作成事業
1. 総括	今年度から長野市児童発達相談支援事業の委託を受け子供の相談が増えた。こども未来部主催の会議が行われ、乳児期、保育園、幼稚園、学校との連携がなされつつある。成人の発達障害の相談が増え、福祉サービスではニーズに応えられないケースもあり、他機関との連携をしながら、支援の方法の検討が必要である。		
2. 事業の内容	<p>(1)長野市障害者相談支援事業（障害児・障害者） 長野市を範囲とし障害者の総合的な相談窓口としての役割を行った。また、障害者自立支援協議会（長野市障害ふくしネット）の運営に携わり、地域の障害福祉のネットワークの構築を図った。</p> <p>(2)長野県障害児等療育支援事業 長野圏域で在宅の障害児を対象に相談を行い必要に応じ早期から地域で、療育を受け障害児の成長の支援を行った。放課後を考える会として関係機関の情報共有を行った。</p> <p>(3)発達障害サポートマネージャ整備事業 長野圏域を範囲とし、発達障害者や家族が将来の見通しをもって安心して社会生活を送るために地域の関係機関からの相談を受け支援体制の整備を行った。つながる連絡会を開催し、医療、教育、福祉の連携を図った。</p> <p>(4)指定一般相談支援事業 入所施設に入所している障害者、又は精神科病院に入院している精神障害者について、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談を行った。</p> <p>(5)指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業 障害者（児）者への継続的な相談支援として、相談の受付、アセスメントを行い障害（児）者の抱えている課題に対し適切なケア計画の作成を行い、安心して地域生活が送れるための見守り支援を行った。</p> <p>(6)ケアプラン作成事業 長野市在住の方もしくは委託を受けている市町村に在住し希望する方を対象としケアプランの作成を行った。</p> <p>(7)高等学校特別支援教育支援員配置事業 小諸高等学校 長野西高校中条高 長野商業高校（定時制）への支援員の配置を行った。</p>		
3. 職員数	①管理者 1 名 ②長野市委託相談員 2 名 ③相談支援専門員 6 名 ④発達障害サポートマネージャ 1 名 ⑤療育コーディネーター 2 名		
4. 相談実績	長野市障害者相談支援事業 802 件 長野市児童発達相談支援事業 1564 件 指定特定相談支援事業 329 件 継続支援 315 件 障害児相談支援事業 271 件 継続支援 188 件		
5. 開設時間	月曜日～土曜日 午前 8：30～午後 8：30		